



CONTENTS

■平成 28 年度スポーツ振興支援事業報告書
■平成 28 年度地域振興事業報告書

■奨学生の声紹介
■平成 29 年度スポーツ振興支援事業並びに地域振興事業募集中

シリーズ 第24回

この本をあなたにも薦めたい
「武士道」
新渡戸稲造 (著)

“奨学会だより” でつなく 夢の架け橋

伊藤青少年育成奨学会と、奨学生のみなさん、県下の高等学校の運動部並びに文化系部活動のみなさん、そしてこれから奨学金を受けたいと希望しているみなさんをつなぐ架け橋として「奨学会だより」を発行しております。わたしたち奨学会は、郷土・岐阜の未来を切り拓く青少年のみなさんが、その夢を実現することができるようにと、平成12年から資金援助を行っています。

しかし、みなさんが目標にしている“夢”は容易に手に入るものではありません。実現までの道のりは長く、厳しく、途中幾度となく諦めを感じることもし少なくないと思います。

そんなときに、どこか遠くで頑張っているほかの奨学生の様子を目にすることができれば、きっとみなさんの励みになるのではないのでしょうか。

また、わたしたちの活動をまだ知らない方々もたくさんいらっしゃるはず。経済的理由から将来に不安を持ち、夢を諦めようとしている仲間達もいるかもしれません。

そんな方々に、みなさんの頑張っている声を聞いていただきたい——「奨学会だより」の発行にはそんな願いも託されています。

スポーツ振興支援

平成 28 年度スポーツ振興支援校からの報告書の一部です。

大垣南高校 フェンシング部 希望郷いわて国体で男子優勝・女子 3 位入賞！ 念願の競技別天皇杯獲得！



深秋の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

この度は伊藤青少年育成奨学会スポーツ振興支援事業に本校フェンシング部を指定いただきまして、誠にありがとうございます。おかげさまで、フェンシング用品(ハイブリッド・メタルピスト・エペ剣・サーブル剣)を購入することができ、本校フェンシング部員はもちろんのこと、本校フェンシング部 OB 関係者等もたいへん喜んでおります。

さて、先日行われました、希望郷いわて国体フェンシング競技の成績は、少年男子が優勝、少年女子が 3 位と健闘し、ぎふ清流国体以来の競技別天皇杯を獲得し、最高の形で終えることができました。

また、本年度は本校フェンシング部の成績も全国選抜大会やインターハイなどにおいて上位入賞を果たすことができ、学校、部員、OB 関係者一同、勝利の歓喜に浸っていたところです。これも長きにわたり支援して頂いたおかげと感謝しております。従来は、試合場を設置する際に、重いピストを数人で運び、そのピストを固定する為に両サイドをガムテープで貼るなど、かなりの時間と労力を有していましたが、今回購入できたハイブリッド・メタルピストは、一人で持ち運びができ、固定する際のガムテープも必要なく、設置時間を短縮することができました。規格も世界大会規格で上級の大会で使用されています。したがって現在の試合環境は、全国大会や国際大会と同様なものになりました。生徒達は、身近でハイブリッド・メタルピストを使用しているのトレーニングができるようになり、大会本番で動じることなく、冷静に試合ができるようになりました。今回の成績もこれらの環境の整備が大きく起因していると考えられます。また、ここ数年来支援していただいたおかげで、かなり

充実した大会を開催することができ、他府県から多くの選手が来てくれるようになりました。この経験はとても大きいと思います。

最後になりましたが、伊藤理事長様をはじめ、貴会の皆様のもますますのご健勝とご発展を心よりお祈りいたしますとともに、この度の温かいご支援に対し、フェンシング部一同、心よりお礼を申し上げます。今後とも宜しくお願い申し上げます。
顧問 鈴木元宏

私は大垣南高校フェンシング部に入学し、「全国制覇」という目標にピックリしました。中学時代はサッカー部に所属し、県大会すら勝ち抜くことができなかった自分に「やればできるんだ」と教えてくれました。これからは大学に進学してさらに精進し、今以上に強くなりたいと思っています。今回のメタルピスト・エペ剣・サーブル剣の支援は、私たちにとても励みになることでした。このフェンシングの道具は後輩たちにも受け継がれていくと思い、益々努力しなければいけないと強く思いました。最近、小中学生のフェンサーが多くなってきました。小さな子ども達が良い環境でフェンシングができることは、たいへん羨ましく思います。これからもフェンシング用具やフェンシング審判器、フェンシング試合場(ピスト)が整備され、フェンシング界が発展することを期待しています。本当に最高の支援をして頂き、ありがとうございます。大切にさせていただきます。
主将 栗田藍央

恵那南高校 スケート部

部員全員で全国大会出場を目指す！



残暑の候、貴社ますますご発展のこととお喜び申し上げます。また、この度は、伊藤青少年育成奨学会スポーツ振興支援事業の支援対象に恵那南高等学校スケート部を指定していただきまして誠にありがとうございました。生徒顧問共々うれしく思い、これから本格的なシーズンを迎えるにあたり、より一層部活動に力がいっております。

また、今年度の目標でもある「部員全員で全国大会出場！」を目指し努力しております。

今回の支援金で購入させていただきましたスラップスケート靴は、スケート選手なら誰もが当たり前のようになっているスケート靴です。しかし、本校のスケート部員は、全員が初めて履く靴でした。生徒たちにとって、スラップスケート靴はとて新鮮で、目が輝いているのがわかります。氷上で滑った感想を聞くと、滑りやすく、気持ちが良い、速くなれた気がする、などうれしいコメントがたくさんありました。

本当にありがとうございます。
顧問 深萱しのぶ

今回の支援金本当にありがとうございました。この支援金のおかげで、私たちはスラップスケート靴を履いて滑ることができます。今までは、靴と刃がくっついているノーマルスケート靴で滑っていましたが、今、この靴を履いている選手はほとんどいません。小学生の選手もスラップスケート靴を履いて滑っています。スラップスケート靴のほうが速く滑ることができるという私は、少し憧れを抱いていました。そんな時、今回の支援金を受けることができると聞き、本当にうれしかったです。夢にまで見たスラップスケート靴で滑ることができ、実際に滑ってみると前のノーマル靴より力を使わずに楽に滑ることができると感じました。今年の冬には、

恵那のスケート場でそのスラップスケートを履いて滑ることができます。1月の日光のインターハイに部員全員で出場し、良い成績を残すことが私たちの目標です。その目標を達成するために日々努力していきたいと思えます。今回の支援金、本当にありがとうございました。

主将 鵜飼彩歌

地域振興支援

平成 28 年度文化系部活動支援校からの報告書の一部です。

各務原養護学校 音楽部



支援金で購入した楽器が夏休み前に揃い、9月から文化祭にむけての練習に活用させていただきました。楽器が新しいものになり、生徒たちのモチベーションが上がったようで、準備や片付けからとても熱心に活動しています。

以前使っていた木琴は、音程が狂っている鍵盤があり、合奏をしていても音程のずれが気になってしまい、演奏している生徒自身も、正しい鍵盤を叩いていたはずなのに、と首をかしげていました。しかし、今は新しい木琴になり、とても気持ちよく演奏しています。グロッケンを担当している生徒も、楽器が変わったことで、良く響く音色が気に入ったようで、とても生き生きと演奏しています。キーボードは同じものを複数台揃えることができたおかげで、音量や設定による音色もバラつきがなくなり、合奏がしやすくなりました。今年度は学校の文化祭の他、市内のショッピングモールで行われた地域演奏会、老人ホームでのクリスマスコンサートなど、地域の活動にも活用させていただきました。

現在、部員が5人と少ないので、購入させていただいた全ての楽器を同時に使うことはできませんが、いろいろな合奏形態に取り組むことができ、今後の活動の幅が広がりそうです。ご支援いただき、本当にありがとうございました。

【活動報告】

- ① 11月27日 文化祭 ステージ発表「スターウォーズ・メドレー」保護者および地域住民に披露
- ② 12月9日 地域発表会 イオンモール各務原、センターコートで

新しい楽器になり、合奏の喜びを実感

約100人の聴衆の前に演奏

③ 12月17日 クリスマスコンサート 地域の小規模多機能型居宅介護施設「陽だまりの宿」にて、演奏会 顧問 成瀬朋子

新しいキーボードが来て、とても嬉しかったです。昨年度まで古い楽器を使っていたので、音がおかしかったり、壊れているところもあったりしたけれど、楽器が新しくなったら、前よりもきれいな音が鳴って、楽しく演奏することができました。ありがとうございました。

3年(女子)

シロフォンの音が良くなりました。とても響く音になって、演奏しがいがありました。難しいところができるようになった時は嬉しいし、楽しいです。これからも、大切に使いしていきたいです。

2年(男子)

岐阜東高校 茶道部

納涼茶会や留学生へのもてなしに活用し、日本の伝統文化を伝えたい



この度は岐阜東高等学校茶道部にご支援を頂きありがとうございました。

生徒たちにこの事業について話して聞かせ、決定した時の喜びと今後の部活動への意欲は生徒達の笑顔で強く感じられました。心より感謝申し上げます。

早速ですが7月24日には毎年の納涼茶会で花寄屏風に季節の草花を挿して保護者、教職員、生徒にお披露目をして楽しみました。

9月末にはオーストラリアからの留学生をお抹茶でおもてなしをして、日本の伝統文化を伝えたいと考えております。

今回頂いた道具の品々を丁寧に扱い、大事に保管しながら使っていきたいと思う次第です。重ね重ねお礼申し上げます。誠にありがとうございました。

顧問 村瀬浩美

日の納涼茶会で花屏風を使わせていただきました。おかげさまで、より多くのお客様に東の間の涼を楽しんでいただけたと思っております。

また、水屋箆筒も普段の部活動で使わせて頂いています。部員一同、今までより一層部活動に対するやる気に満ちております。これからも丁寧に使っていきます。

暑さはまだまだ続くようです。どうぞご自愛くださいませ。

一言お礼を申し上げたくお便りいたしました。ありがとうございました。

部長 片岡瞳

入道雲が空に映え、まぶしい夏の到来を告げています。

この度は素敵なお花屏風とお水屋箆筒をありがとうございました。早速、先

森 司

名城大学
薬学部 1年
(岐阜県立岐山高等学校卒)

セルフメディケーションを取り入れ、地域の健康づくりに貢献できる薬剤師を目指す。

私は、この半年間で、大きく分けて2つの面での学習を進めていくことができたと考える。一つ目は、薬学を勉強していくにあたって重要な化学や生物、物理などの専門教育科目に力を入れることができたことと考える。具体的には、化学では、ケクレ構造式についての理解を深めることができた。高校までで学んだ構造式を炭素と水素を省いて簡略化させることによって、後期以降に学ぶ、より難関な構造を学ぶ基礎力を修得することができた。その他の生物や物理でも、高校までで学習した事柄をより一層発展させた内容について、知識を得ることができた。二つ目は、薬剤師としての使命について学ぶ

ことができた。その中でも私はセルフメディケーションについて深く関心を持った。セルフメディケーションとは軽い病気や怪我ですぐに医師の診断に行くのではなく、自分で治療できることは自分で治療するという考え方である。私は将来、薬局薬剤師として働き、社会貢献したいと考える。そのため、この考え方を取り入れた薬局の経営者になりたいと考えている。具体的には、薬局内で定期的に健康サポート教室を開き、地域の健康づくりを担っていききたいと考える。このようなことを実現するために、今後も高い意識を持ち、頑張りたい。

奨学会からのコメント セルフメディケーションの考え方で医療制度の根本を支え、国家予算に占める医療費の問題を解決する意識を皆が持たねば国が危うい。

田端みずほ

岐阜大学
医学部医学科 2年
(岐阜県立斐太高等学校卒)

人体や脳の機能の神秘に興味津々。さらなる専門科目の修得に励みたい。

2年生になり教養科目がなくなり、専門科目だけになりました。まず始まったのが、人体構造学コースです。講義や教科書で得た知識を解剖実験で確認しながら学びました。教科書では立体構造のイメージがつきにくいのですが、解剖実習では臓器の立体構造や重さ、長さ、厚さなどを実際に目で見たり感じたりできるので、より強く知識を定着させることができました。

その次にあったのが、高次神経形態学というコースです。このコースでは、教科書的な知識だけでなく、教科書には書かれていない最先端の神経科学の研究についても講義を受けました。脳を透明化する技術が開発されて、脳の内部で興奮している神経細胞も、外から目で見ることができるようになったというような話を聞いた時は衝撃を受けました。

脳の機能とは本当に神秘的で、これからますます研究が進んでいく領域です。大変興味深く感じます。その後は生化学、生理学を学び、今は病原体をやっています。

どのコースも試験があるので、大変ではありますが、新しい知識を身につけるといことはとても楽しいことです。そして、人体つまり自分の身体について学ぶということは大変興味深いです。

最近では部活の同期生と過ごす時間が増え、分からない部分や勉強が進んでいない部分を教えてもらったり、ノートを見せてもらったりしながら頑張っています。これから薬理学、病理学と続きますが、仲間に頼りながら、乗り越えていこうと思っています。

奨学会からのコメント 脳を透明化？大変興味がある。かつてロボットミーム術というものが行われ、その倫理観が問われた。それ以降脳の中を探り、それに対処することがタブー視される時代が続く。今度こそ間違えず、その技術をどう生かすか。

高木 朝加

筑波大学
体育専門学群 2年
(岐阜県立岐阜高等学校卒)

まずは希望する研究室に所属すること。将来は「健康寿命の延長」に貢献したい。

2年生になり、1年生に比べると専門的な科目が増えました。体育専門学群では、2年生で研究室を決めます。体育学分野・コーチング学分野・健康体力学分野という3つの分野に対応した39の研究領域の中から研究室を決めます。

研究室は卒論や将来の進路に関わるためとても重要です。そのため、授業の中に大学にどのような研究室があり、何を研究しているのかを学ぶものがあり、とても参考になります。

私は2年生になって、「自分が何をしたいのか、将来どんなことをしたいのか」について真剣に考える時間が増えました。それは入学当初に考えていた道とは変わっていて、大学生になり色々なことを学び、人間関係も変化の中で、自分の視野の広がりがりや価値

観の変化を実感しております。

数多くある研究領域の中から私が一番興味のあるものは「健康増進領域」です。「健康増進学領域」では、中高年者の健康づくり支援法や健康度・老化度の測定評価法を研究しております。

現在、超高齢化社会になり、平均寿命が伸びている日本において、「健康寿命の延長」がキーワードになっております。そのために体育・スポーツを学んでいたからこそ持つ視点で社会を見つめ、貢献していきたいと思っています。来年の1月に研究室の面談があり、2月中旬に最終決定という流れになるので、行きたい研究室に所属できるようにしっかりと自ら行動していきたいです。

奨学会からのコメント 興味は刻々と変化し、最終的に専攻を決めても迷いは残る。日々の研鑽、精進でどんな道でも本物にできる。体育のプロに言わずもがな。

鬼頭 愛

愛知県立大学
外国語学部 英米学科 3年
(岐阜県立多治見高等学校卒)

カナダのメモリアル大学へ留学中。後期からの学部受講に備え、語学研修に励む日々。

私が留学先にカナダのメモリアル大学を選んだ主な理由は、観光学の授業があり、日本人が圧倒的に少ない環境で学べるからです。私は1学期目は大学で学ぶレベルの英語力をつけるための語学研修を受け、2学期目からは現地の学生と共に学部授業を受講するというプログラムに参加しています。

そのため現在は、英語のReading、Writing、Speaking、Listeningの総合的な能力を大学レベルにまで高めるためのトレーニングをしています。また、少しでも学部授業に慣れるために、今学期も1つだけ学部授業を受講していますが、まだ学部の授業についていくほどのリスニング能力が無いことを実感しており、さらなる努力が必要になります。

そして、後期から交換留学生になり、学部授業を受けられるようになれば、目的である観光学の授業をとることが出来ます。私は将来、観光学に携わる職業に就き、近年急成長を遂げる日本の観光業の新たな発展のために貢献したいと考えています。観光業が盛んなこのニューファンドランドで観光業を学ぶことは、日本が学ぶのとはまた違った新たな視点から考え、視野を広げることのできる貴重な機会になります。

さらに、日本から遠く離れた地域のため、日本人がほとんどいません。常に英語で伝えることを必要とされるこの環境は、英語能力を向上させるためには非常に良いです。後期からの学部授業に向けて、英語運用能力を高めるために、今後も語学の勉強に励みつつ、自分の興味ある観光学を少しずつ研究していきたいです。

奨学会からのコメント アトキンソンの『新・観光立国論』を読み、なるほど。日本では観光というものが手付かずらしい。観光国家戦略の中で検討を祈ります。

この本をあなたにも薦めたい



「武士道」

新渡戸稲造 (著)
岬龍一郎 (訳)
出版社: PHP 文庫

「武士道」

新渡戸稲造 (著)

今年の2月に東海地区選抜高等学校剣道大会を観戦する機会があり、その折主催者の挨拶の中でこの本を話題とされました。懐かしく思い再度読んでみました。

著者新渡戸稲造は旧五円札の肖像で名前はご存じの方も多いと思いますが、この本は明治32年(1899年)にアメリカで英文で

発行されたものです。「日本人とは何か」ということを「武士道」というタイトルの本にまとめ、新生日本の姿を知ろうとする欧米で多くの読者を魅了し、世界的な大ベストセラーとなりました。当時のアメリカ大統領セオドア・ルーズベルトも愛読したと言われています。

けっして古めかしい道徳を語っているわけでも、封建制度の因習を記したものでもなく、「日本人の伝統的精神」といったものが、世界文化と比較しながら格調高く書かれてあり

ます。

現在の学生にも「真のリーダーとは何か」と考えながら、ぜひ読んでいただきたいと思えます。

平成29年度 スポーツ・文化系部活動振興支援事業並びに地域振興事業支援金 募集中!

締切日(消印有効)
平成29年4月30日

詳細につきましては、下記財団ホームページをご覧ください。事務局へお問い合わせ下さい。

スポーツ・文化系部活動振興支援事業

■事業の概要

高等学校運動部及び文化系部活動のなかで、大きな目標を持ち、日頃から積極的な活動を実施している団体や、十分な活動時間が持てないなか活発に活動している特別支援学校等に対して、支援することを目的としています。

■審査基準

- ① 支援金は部活動向上のための商品、什器・備品等の購入のための支援金であり、遠征・宿泊費等は支援できませんのでご注意ください。
原則として、パソコン、ユニフォームも対象にしておりません。
- ② 活動内容が、部活動等を通じて豊かな人間性を確立するという目的に沿っているか、といった観点から審査いたします。必ずしも、よい成績を取めるためでなくてもかまいません。もちろん、独自の取り組みの結果として好成績を取めている場合は評価いたしますが、過去の成績だけで選考することはありません。

スポーツイベント

■事業の概要

当事業は、岐阜県内で開催される小・中・高生を対象としたイベントで、青少年の健全育成に寄与することを目的としております。活動内容が、スポーツを通じて、仲間とともに力を合わせて心・技・体の鍛錬を重ねる活動であるかどうか、といった観点から審査いたします。必ずしもよい成績を取めるためでなくてもかまいません。予算の許す範囲で助成いたします。

■審査基準

- 助成対象は、岐阜県内で今事業年度(4月～翌年3月)に行なわれるイベントで、営利目的ではないことを条件としております。助成申請があったイベントに対し助成をする応募型の助成で、青少年の健全育成または地域の活性化に資するかといった視点に立ち選考し、選考の結果、当法人が必要と認めた額を助成いたします。ただし、下記のものは対象外となります。
- (1) 個人的な事業
 - (2) 毎年継続的に行なわれる恒例的な事業の複数回の助成(一回限りならば助成可能)
 - (3) 目的が明確でないもの
 - (4) その他、当財団がふさわしくないと判断したもの

地域振興事業

■事業の概要

当事業は、地域の各種団体等が取り組む様々な地域振興事業に資金の助成を行なうことで、人材の育成または地域の活性化に資することを目的としております。

■審査基準

- 助成対象は、岐阜県内で今事業年度(4月～翌年3月)に行なわれる文化・教育・国際交流等に関する事業活動で、営利目的ではないことを条件としております。助成申請があった事業活動に対し助成をする応募型の助成で、人材育成または地域の活性化に資するかといった視点に立ち選考し、選考の結果、当法人が必要と認めた額を助成いたします。ただし、下記のものは対象外となります。
- (1) 個人的な事業
 - (2) 毎年継続的に行なわれる恒例的な事業の複数回の助成(一回限りならば助成可能)
 - (3) 目的が明確でないもの
 - (4) その他、当財団がふさわしくないと判断したもの

■選考の流れ(全事業共通)



*高等学校の部活動は学校長を介して、奨学会へ申請書を提出してください。